

16/12/6 名古屋市経済水道委員会 メモ (名古屋市民オンブズマン作成)

丹羽ひろし(自民・名東区):委員長に聞きたい。入場制限、年末年始チラシについて
「なるべく議案内でお願いします。」

どう言う意味か

大村光子(減税・昭和区):チラシの件を話されていたので、議案内でといった。

丹羽ひろし(自民・名東区):入場者は増やすことも出来る。

なんら問題がないと思うが。

大村光子(減税・昭和区):大変失礼した。

丹羽ひろし(自民・名東区):委員長が仕切り 遮られた

大村光子(減税・昭和区):今後は気をつける

丹羽ひろし(自民・名東区):謝罪か

大村光子(減税・昭和区):そう

塚本つよし(民進・瑞穂区):竹中工務店で話をした人の役職は
市:名古屋支店長

塚本つよし(民進・瑞穂区):一大事業

取締役会

500億円を超える超えない

役職の人が了承しているのか

代表権者と契約する

取締役会にかけているのか。議事録は

所長:取締役会にかけられているか把握していない

塚本つよし(民進・瑞穂区):取締役会議事録を入手してほしい

田辺雄一(公明・千種区):損害賠償

WTO 支払い遅延防止 利率

足すと1ヶ月で2.4億

3ヶ月6億

6ヶ月13億

以外とこれぐらいで済むという感じ

505億円話が進まなかった

営業の経験がある。ばくちのような事業 いろいろ考えないといけない

ずいぶん少ない額だと思うがどう思うか

1年間に100億円の経済波及効果 半年でもわずか13億円の賠償

所長:大きな契約であることは認識している。

企業にとっては決して小さい額ではない

こういうことがないように受注者として努力した

田辺雄一(公明・千種区)：年間 100 億円の効果がある

遅延は絶対許されない

事業をする上で当たり前

丹羽ひろし(自民・名東区)：市民からの質問

505 億円内で収める

節ありだと 270 億 節なしでは 400 億

確認をとった上での資料か

主幹：仕様がかわらない範囲での見解

丹羽ひろし(自民・名東区)：1 級建築士 専門的な仕様の変更

損害賠償項目 額を聞いたつもり

主幹：項目を挙げた

額は契約解除した状況 今は示せない

丹羽ひろし(自民・名東区)：どこがスタートかわからない

10 億を認めただけで受注者側の判断で決められる

今の現時点の審議 契約をしている段階かしていない段階か 確認

所長：現時点で契約していない

丹羽ひろし(自民・名東区)：今は契約していない。

議会で否決されたら何も請求されないでよいか。

所長：契約には至っていない。一定の契約に向けて法的責務がある。

いろいろな経費で契約に至らなかった場合、請求されるか判断しかねない

丹羽ひろし(自民・名東区)：前の答弁では一切請求されないと言った。

どういうことか

所長：期限が遅れる場合、議決が得られない場合、中止することが出来る。

それ以上進めないなので、問題がない

丹羽ひろし(自民・名東区)：金銭的賠償はないでよいね。

所長：私どもとしてはないのではないか。

丹羽ひろし(自民・名東区)：ないという理解。

昨日の市長記者会見 認識しているか

所長：「優先交渉権者と契約である」と承知

丹羽ひろし(自民・名東区)：「契約している。何を言っているんだ。

契約していないとだれが言ったんだ」

本契約をしていない

どう思うか

所長：9月委員会 市長が出席

市長 現時点は優先交渉権者と交渉する法的責務をしている
契約に近いような状況 と認識

丹羽ひろし(自民・名東区)：市長は明確に「税金で支払う必要がない」

委員会を傍聴して、「契約じゃない」と認識

「今断ったら材木を発注しているかもしれない」

記者「払う必要がないのではないか」

市長に教育したのか。

局長印鑑で契約するわけでない。市長の印鑑。

市長が認識していない。

市長は知っているのか

所長：昨年度より市長とは相談している。

市長は方式については承知していると思う。

「法的責務は大きい」といっている。

丹羽ひろし(自民・名東区)：本会議の中で、「記者会見で責任持てるか」

責任持てるかと断言した。

内閣不一致。市長と皆さんと意見が違う。

非常に重たい定例記者会見

youtube 157人が見ている。

怖さを感じないか

魅力担当部長：設計契約でご審議 締結前。

こういった契約に至るまで誠実に

「契約」という言葉。まだ至っていない。

丹羽ひろし(自民・名東区)：それは分かっている。

市長が言っている契約 「無記名契約」

技術提案交渉方式の契約はまだ至っていない

勝手に材木、人の手配、ビデオ作ったり 営業をしている

局長：木材について明言したか確認していない。

「無名契約」 設計とそれは違う。

弁護士と確認して、訴訟リスクがある。

営業の範囲内 お願いをしているわけではない。

事業者の活動

丹羽ひろし(自民・名東区)：局長 記者会見は全部見たか

局長：見ていないが、議事録は見た

丹羽ひろし(自民・名東区)：youtube で誰でも見れる。

その中で、かなりつつこんだやり取りをしている

記者の方がやり取りしている。

「市長は違うと言っている」

皆さんが違うのか、市長が違うのか

局長：答弁と繰り返し 市長と我々の見解は一つ

実施契約と、無名契約は違う。

相手があるので、訴えるかどうかは別。

丹羽ひろし(自民・名東区)：契約に至っているかどうかだけ。

市長は「契約している」

議決しなければ関係ないでしょ？→だれがそんなことを言っているのか

局長：書いてある

丹羽ひろし(自民・名東区)：市長と見解を一にしているのなら、

イコールでよいか

局長：市長の言葉 優先交渉権者の

丹羽ひろし(自民・名東区)：だったら、請求されない

技術提案交渉方式について市長は理解していない

局長まで理解していないでよいか

局長：弁護士と確認して

丹羽ひろし(自民・名東区)：弁護士関係ない なんで弁護士

所長「今の段階 責務はない」 答弁

局長ともあろう方が、明確ではないか

今の段階で契約 木材調達しているかも 責務を負う

所長「何ら責任がない」

所長：実施説明書上 契約手続 予算の承認、工期の遅れ

自ら市が取り下げた場合、そういったリスク

予算が認められないのであれば、実施説明書上の責務は負わない

丹羽ひろし(自民・名東区)：可決か否決か 重大な局面

その答弁はない。

答えになっているのか？

明確な答弁がほしい 委員長から仕切ってほしい

大村光子(減税・昭和区)：局長 答弁を

局長：訴訟リスクについて

丹羽ひろし(自民・名東区)：僕は、市長の発言と局長の発言は違うと思っている

議事録を資料で出してほしい

その部分。13分46秒から

関連するところを線を引いて出してほしい

所長：昨日の会見の全体議事録を出すでよいか

江上博之(共産・中川区)：委員会と平行して行った

相当怒っている

大村光子(減税・昭和区)：再開は準備できてから

14：40-

総務課長：資料

丹羽ひろし(自民・名東区)：遅れば遅れるほどカネがかかる

市の負担になるのか

所長：まだ契約段階でない

丹羽ひろし(自民・名東区)：遅れば遅れるほどお金がかかる

材木

今おもんばからないといけないのか

所長：木材は

丹羽ひろし(自民・名東区)：ミスリードさせようとしているのか

所長：市の都合で一方的にやめた場合、どういことを請求されるかは分からない

木材はわからない

丹羽ひろし(自民・名東区)：所長の部下がこのような発言をしたらどうするか

所長：当局としては、木材は話をしていない

丹羽ひろし(自民・名東区)：当局としてはいわないのか

所長：そう

丹羽ひろし(自民・名東区)：記者「しかし、木材分を払う必要はないですよ」

市長「何を言っているのか。」一般論を話している。

今回は技術提案交渉方式の話をしているのに、一般論を話す。

記者「市の説明では本契約ではない」

市長「だれがそれ言ったの」

記者「議会でもそういった資料が出された」

所長：市長「一般論」を言っている。

具体的にはどういことなのかはかれない。

「優先交渉権者の契約」私たちどもは言っていない。

市長は契約だととらえている。

丹羽ひろし(自民・名東区)：技術提案交渉方式で、を記者は聞いている。

お城のこと。一般論は答弁になっていない。

市長「俺はそんなこと聞いてない」「そんならそれを見せて下さいよ」

プロポーザル実施説明書 あくまでも議会の予算が承認されなかった場合、締結しない。

契約するかしないかの議論

市長はさも契約した場合の話をするのは信じられない

「そういう内容の契約です」議決前に手続が入っているような頭

所長：市長が申しているのは、優先交渉権者の

実際の設計契約に入っていない 「そういう契約の内容です」

丹羽ひろし(自民・名東区)：市長は弁護士の勉強をした。一般論はそう。

技術提案交渉方式 「聞いていない」

10/6 資料 明確に書いてある。

契約前 市長に説明していないのか

所長：委員会資料は資料に説明している。

丹羽ひろし(自民・名東区)：「見せて下さいよ」ありえない。

皆さん否定されている

所長：市長が契約と言っているのは、優先交渉権者の関係

行き違い

丹羽ひろし(自民・名東区)：ちゃんと答えて下さい。

本当に市長はそう言ったのか

所長：個別には聞いていない

丹羽ひろし(自民・名東区)： 12時で休会 3時 その間何やっていたのか。

所長：無名契約は広い意味での契約

丹羽ひろし(自民・名東区)：何回も同じことを繰り返す

資料に線を引いてきてくれ

一般論の話をしていない。名古屋城のことを聞いている。

何を聞いているのか。公知の事実。

所長の答弁は委員会を愚弄している。

局長：「俺には聞いておらん」

記者「議会にも資料を渡した」 議論がずれている

丹羽ひろし(自民・名東区)：局長自ら言ったら議論できない。

現状では本契約ではない。一般論ではない。

なんでそこだけ一般論。

市長は右から左に説明を聞いていない。

局長：天守閣については市長と相談している。

市長は途中で変わっている。契約後の話と契約前の話を頭の中で整理している。

丹羽ひろし(自民・名東区)：嘲笑。ずっと天守閣で来ている。

市長に伝わっていないのなら、市長が悪いのか説明不足か。

所長：説明したことと市長の発言が食い違っているのは、我々が説明不足。

丹羽ひろし(自民・名東区)：本会議 記者会見 責任を持てますか「責任を持てると断言」

市長が言ったことは責任を持つ。訂正もしない。

いい加減な報告をあげていた。

これまで何をやっていたのか。

所長：市長と相談しながら

説明が不十分。

丹羽ひろし(自民・名東区)：505億 10億の先

河村たかし印で契約。市長が内容を理解していない。部下が説明していない。

発注をなされようとしているのか

所長：われわれとしては誠実に事業を進めようとしてきた

丹羽ひろし(自民・名東区)：イエスカノーか

局長：定例記者会見 半年間やってきたことをすべて表現してきたものではない。

やり取りについて不確かなところもある

丹羽ひろし(自民・名東区)：そんなことをきいていない。説明不足と認めた。

市長は悪くない。訳の分からん答弁。

定例記者会見自慢している。ぶち切れている。

ぜひ流したかったくらい。

商売なら商売と

清水も分かっている。市長が委員会を傍聴していたら全部分かっているはず。

所長：委員ご指摘の通り、優先交渉権者を選び、契約に向けた努力。

信義誠実の原則。そういう趣旨を述べている。

丹羽ひろし(自民・名東区)：意見が全く違う。

市長「僕は狂っていれば別」

契約変更が少なくとも、契約

議決を経ればOKになるんですよ。

記者「優先交渉権者の時点で議決しているわけではない」

市長「何言ってるの」

こんな常識外れのことを市長に言わない皆さんと審議はできない

市長「内容証明だすぞ」 記者「出してくださいよ」

市長：自分でまずいことを言っていることに気づいた。

核心ついたことで怒り出した

「根拠のあるあれを示して下さいよ」委員会の資料

皆さんが悪いんだ 審議をする価値はない

局長：市長にはわれわれの思いを伝えている。

詭弁 説明を議員に理解できていないのは努力不足

丹羽ひろし(自民・名東区)：当局の説明が腹に落ちた人はいるのか

いないと思うよ。へたくそな説明をしてきた。

局長：定例記者会見と、委員会の説明 完全にどこがオーバーラップしているのか

検証すべきところがある。

はっきりしているのは、本契約の前と後が違う。弁護士と確認済

丹羽ひろし(自民・名東区)：また弁護士弁護士

弁護士いない。契約書 プロポーザルの説明書に書いてある。

市長のことなのか、自分たちに責があるのか

局長：前提条件 弁護士に確認したのは、説明書ではなく、優先交渉権者の立場

丹羽ひろし(自民・名東区)：そんなことで審議しているの？

弁護士に相談して今あるはずだ。

採決して○になったら、弁護士に相談するのか

局長：実施設計書上の立場は理解している。

丹羽ひろし(自民・名東区)：そんなもんずっと分かっている。

6月「そんなに訴訟がこわいのなら、×にしてあげようか」

現在12月。詭弁。市長の責任か当局の責任か。

どちらか

局長：行政なので1つ

丹羽ひろし(自民・名東区)：説明になっていない

局長：市長の口からでた言葉が我々の責任なら、我々の責任

丹羽ひろし(自民・名東区)：任命責任が問われる。感情的になって記者にくってかかる

まずくなったら声を荒げる

鎌倉安男(減税・守山区)：市長の真意を聞かないといけない

市長を呼びたい。

最終局面 市長を呼んで聞いてはどうか。

正副ではかってほしい

大村光子(減税・昭和区)：正副で協議したい

暫時休憩

大村光子(減税・昭和区)：市長を呼ばないことを決めた

丹羽ひろし(自民・名東区)：全てを無にする答弁

田辺雄一(公明・千種区)：市長「遅れば遅れるほどお金がかかる。

市民の負担」この発言がどれだけ重大か

市長6月 自らの意志で時間がほしい

9月 議会の議決で継続

今

遅れが議会のせい、カネがかかる

市民税で負担するのであれば慎重に議論

当局「それはない」

主幹：実施説明書がすべて。

損害が名古屋市の責任はない。

田辺雄一(公明・千種区)：委員長、今の答弁と市長の発言は食い違わないか

重要。市長が事実と違うことで委員会、議会を中傷することはあってはならない。

審議が遅れている故に

主幹：何らかの責めがあれば

大村光子(減税・昭和区)：市長は理解しているのか

主幹：市長としては説明に入っている それで判断している

田辺雄一(公明・千種区)：まじめに審議している

大村光子(減税・昭和区)：私としては真摯に

田辺雄一(公明・千種区)：材木 具体的な話はしていない

抽象的な話をしているのか、していないのか

所長：提案書を頂いている。2022年に見直す 工程の話

木材の調達時期 その程度

田辺雄一(公明・千種区)：優先交渉権者の設定 いわば契約

議決を経た後に協定を結んだ上での契約

本工事の契約 契約書

優先交渉権者の設定という契約 よく分からない

何をしてもよいのか？ 市長の言い分「だから木材とかお金がかかってくる」

業者に対してそこまでの権限を認める契約なのか

主幹：私どもとしては、予算にむけた協議のみ

田辺雄一(公明・千種区)：優先交渉権者の設定という契約 100歩譲って理解しても、

仮に木材の手配をしてしまっても、名古屋市に賠償する責務はないと言い切ってもらえますか

主幹：設計契約したわけではないので、私どもとしては責めを負う立場にない。

田辺雄一(公明・千種区)：わかりやすい

「市長」が入っていない

だまされているのではないか。様々な賠償責任が発生しているのに、「大丈夫です」

実は賠償責任があつて、と思ってしまう。

そういうことはあってはならないこと。

答弁と市長の発言をつきあわせるとそうなっちゃう。

矛盾は存在しないか。

観光部長：現在の状況は資料で出した 私どもと竹中と それ以上のものではない。

田辺雄一(公明・千種区)：市長は記者に謝らないといけない

かみ合わなかった人の問題。

何回も念押しをした。

間違っことは訂正しないと行けない。

観光部長：当局として、自ら取り下げるのは法的責務を負う。

田辺雄一(公明・千種区)：よく理解できない。主体者が違うのか。

ある方 「否決しないと困る」 当局として、自ら取り下げるのは法的責務を負う。

公募型プロポーザルに落ち度があったのでは

名古屋市におけるやむを得ない事情があった場合、契約しなかった場合、項目がない。

契約が下手。優先するものが出てきた。

主幹：任意でやめることができるか。

政策的判断でやめることは可能だが、損害賠償をはらう必要がある可能性がある。

田辺雄一(公明・千種区)：そうじゃない

主幹：

大村光子(減税・昭和区)：的確に答弁を

主幹：基本的に途中でやめる想定はしていない

大村光子(減税・昭和区)：田辺質問 契約書になぜ書かなかったのか

所長：私どもとしては、議会の議決を受ける。工期が間に合う 進めていく。

田辺雄一(公明・千種区)：どこまで話を進めても、民間ならよくあること。

盛り込むことは出来なくはないが、盛り込まなかった、でよいか

所長：その時点でそう考えていなかったので盛り込まなかった

田辺雄一(公明・千種区)：確認してほしい。

ルール変えたらどうですか。

プロポーザル やむを得ない事情 一文加えたらどうですか

所長：示したルール 現プロポーザルで加えるのは難しい

田辺雄一(公明・千種区)：一度精査をしてほしい

木下優(公明・中川区)：記者「現状では本契約ではない」

当局に聞きたい 「現状では本契約ではない」 記者のことは間違いないか

主幹：契約しているわけではない

木下優(公明・中川区)：市長 希代の無責任の発言

言っていることが軽い。

間違っことは言うてはいけない。

委員会もこれだけ延びて無駄な時間

知っていてわざと言っているのか、知らないのか。

当局もあきれ果てていると思う。

平気で記者会見で述べるのはあつてはならない。

市長は間違いでよいですね。

所長：設計契約 予算のご審議をいただいている。そこまで至っていない

木下優(公明・中川区)：市長に教えて、ていたらくな記者会見をしないほしい

江上博之(共産・中川区)：昨日の記者会見 何時から

主幹：10時半～11時15分頃

江上博之(共産・中川区)：昨日経済水道委員会で議論していた。

そのときに記者会見をすること自体議会軽視

総務課長：質問については記者は自由に言っている 議会軽視にあたらない

江上博之(共産・中川区)：審議中は理解している。議会軽視ではないか

総務課長：認識はあったものと理解。

江上博之(共産・中川区)：優先交渉権者は契約とは違う。

選定と契約は意識して使わないと行けない。

市長のやってきたこと 契約延期 議案の範囲内でいいかな

金額の上昇 契約の後であれば

記者会見でやっていただきたい

主幹：市長に報告する

江上博之(共産・中川区)：損害賠償

工期の遅れが確実になった場合、契約の締結をしない場合がある

どんな場合を想定しているのか

主幹：

江上博之(共産・中川区)：名古屋市に責めがあった場合

観光部長：

江上博之(共産・中川区)：「取引関係 守らないと行けない」

全党一致は国の話。名古屋市ではないでよいか

主幹：そう

江上博之(共産・中川区)：記者会見で訂正してほしい

観光部長：

江上博之(共産・中川区)：前後の関係で誤解を生むような発言は慎んで

市長の発言の撤回を求め、会見を求める

議会を侮辱する発言はやめて

藤沢ただまさ(自民・南区)：市長「これだけのノウハウをみんなにさらして、

止めて新たにやるってフェアなんですかと言ってますよ」

そういう発言はあったのか

所長：そういう発言はない。同じ条件でやったら、竹中の提案は公開された。

不利ではないかという発言はあった。

藤沢ただまさ(自民・南区)：竹中が言ったと読めるが

所長：説明不足 プロポーザルをやめろという発言はないが、
公開されたので、不利になるといわれた

藤沢ただまさ(自民・南区)：どう答えたのか

所長：ご了承下さい。

藤沢ただまさ(自民・南区)：だれがいったのか。組織体？

所長：関係の中で話があり、申し入れとか正式な話ではない。

藤沢ただまさ(自民・南区)：竹中の話で何か変わったのか

所長：変わっていない

藤沢ただまさ(自民・南区)：市長の発言はどうとらえたらよい

所長：

藤沢ただまさ(自民・南区)：訴えられるとやたら言っている

鎌倉安男(減税・守山区)：市長の会見内容

無名契約

主幹：信義誠実の原則。

鎌倉安男(減税・守山区)：505億円でやっていく。

第三者の企業体 議会としてはそろそろ議決した方がよいと思う

西山あさみ(共産・中区)：12ページ 市長の発言

中区区政協力員さんは何を持ってきたのか

主幹：区政協力委員長全員で早く木造天守閣作ってほしいという要望書

西山あさみ(共産・中区)：全員か

主幹：中区の議長の連名を確認

西山あさみ(共産・中区)：中区で聞いても、区政協力委員の中に、木造で
つくってほしいという意見ではないひともいる。

主幹：委員長の連名で 市長としては、各委員の判断も得たと判断。

西山あさみ(共産・中区)：これだけ聞くと全員だと思ってしまう。

私が聞いたものとは違う。

正しいものではないのではないか

主幹：区政の代表が委員長

全員というのは正しくはないが、

西山あさみ(共産・中区)：市長が発言するのは非常に重い

中区の市民が全員賛成しているわけではない

中川貴元(自民・東区)：昨日の会見 確認 技術提案交渉方式の制度
認識が市長と当局が若干なりともずれがあるでよいか

局長：技術提案交渉方式については情報提供自体市長からでた。

市長の認識が深い。我々の勉強不足があったかもしれない。

回数を重ねてきた。認識を重ねてきた。

中川貴元(自民・東区)：認識のずれがあるというのはみんなが持った

田辺雄一(公明・千種区)：完成時期の見直し

錯誤がある。注釈が必要。

有識者 もっと闊達に議論してほしい。

2020→2022 2024 ならどうなるか、など。

新国立の時も、専門家は忸怩たる思いで決定

2020 ならマスト

おしりが決まっていけないのなら、意見がいろいろ出るのではないか。

1 から有識者の意見を聞いてはどうか

後世に後悔を残してしまう

丹羽ひろし(自民・名東区)：定例会で議論 市民不在の所

観光その他債 資料 入場者数、収支見込み

360→366 万人 荒い資料

しっかりと事業計画 銀行で新規事業 事業計画とするには内容がない

これ以上出せないのであれば、第三者機関 お金がいるのならお金

順序が逆

収支とか、第三者にゆだねることを強く要望する

藤沢ただまさ(自民・南区)：前半の資料 仕方がない

505 億円は収めると竹中が言ったということか

所長：前段

計画の変更 協議で収めるよう努力 提案に沿って

藤沢ただまさ(自民・南区)：505 億で収まるということか

所長：今の計画 505 億で収める

大村光子(減税・昭和区)：暫時休憩 16：27

17：27

丹羽ひろし(自民・名東区)：継続動議提案

市長と当局との違いが明らかに
完成時期 評価委員の意見を再調査
入場者数 第三者チェックを早急に
大村光子(減税・昭和区)：継続動議提案
成立した
本動議をただちに議題
起立多数 動議
閉会中も継続審査

この議案の継続審議動議の採択。
自民、公明、民主の賛成(多数)。
減税日本、共産の反対(少数)。